

授業科目	精神看護学概論	単位数	1 単位	講師名	看護師
		時間数	15 時間		
学年	2 学年		履修期	前期	
授業の目標	精神看護の意義・目的・役割を理解し、精神の危機的状況や精神を障害された個人とその家族への援助を考えるのに必要な基礎的知識を学ぶ。				
授業内容 (授業計画)	1. 人々の暮らしと精神保健福祉・・・・・・・・教科書 1 ― 第 1 章 1) 人は人に支えられながら生きている 2) 現代社会と精神保健福祉 2. 精神保健福祉の歴史・・・・・・・・教科書 1 ― 第 2 章 1) わが国の精神保健福祉の変遷 2) 諸外国における精神保健福祉改革 3. 精神保健福祉に関する法律と施策・・・・・・・・教科書 1 ― 第 3 章 1) 精神障害者支援にかかわる法律 2) 施策の動向 4. 特定の状況に対する精神保健福祉・・・・・・・・教科書 1 ― 第 8 章 1) 貧困と精神保健福祉 2) 障害者虐待と精神保健福祉 3) 物質依存と精神保健福祉 4) ジェンダーと精神保健福祉 5. リエゾン精神看護・・・・・・・・教科書 2 ― 第 14 章 1) 身体疾患をもつ患者の精神保健 2) リエゾン精神看護とその活動 3) リエゾンナースの活動の実際 4) 看護師の精神的健康への支援				
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	1. 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 (医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔2〕精神看護の展開 (医学書院) 3. 国民衛生の動向・厚生 of 指標 (一般財団法人 厚生労働統計協会)				
参考図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 (医学書院)				

授業科目	精神保健	単位数	1 単位	講師名	非常勤講師
		時間数	15 時間		
学年	2 学年			履修期	後期
授業の目標	ライフサイクルにおける心の発達と健康について学び、健康生活の保持増進に必要な精神保健活動について学ぶ。				
授業内容 (授業計画)	1．人間の心のはたらき 1) 人間の心の諸活動 2) 心のしくみと人格の発達 3) 心の危機とストレス 2．関係の中の人間 1) 全体としての家族 2) 人間と集団 3．現代社会の諸問題と精神保健福祉 1) 統計からみた現代社会のメンタルヘルス問題 2) 具体的に見た現代社会のメンタルヘルス問題 3) 精神保健福祉専門家に期待されるもの 4．アルコール依存症および薬物依存症の治療と精神保健福祉 1) アルコール依存症の現状 2) 薬物依存症の現状 3) 依存症の治療 5．児童虐待と精神保健福祉 1) 児童虐待の現状 2) 児童虐待の精神病理と社会病理 3) 被虐待児の心の傷 4) 早期発見と早期治療・ケア 5) ト라우マを癒すには 6．PTSD と精神保健福祉 1) PTSD の原因・診断・症状 2) 心的外傷体験における心理・行動上の特徴 3) PTSD 患者に対する治療 4) 犯罪被害者の遺族への支援				
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	1．系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎（医学書院） 2．系統看護学講座 別巻 精神保健福祉（医学書院）				
参考図書	特記なし				

授業科目	精神健康論	単位数	1単位	講師名	医 師
		時間数	30 時間		
学年	2 学年		履修期	前期～後期	
授業の目標	精神障害の現れ方の特徴と主な精神病の原因、診断、治療について理解する				
授業内容 (授業計画)	1. 精神保健の考え方・・・・・・・・・・教科書 第2章 1) 精神の健康とは 2) 精神障害のとらえ方 3) ストレスと健康の危機 4) 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 5) 回復（リカバリー）を支える力 2. 精神科で出会う人々・・・・・・・・・・第5章 1) 精神を病むことと生きること 2) 精神症状論と状態像 3) 精神障害の診断と分類 3. 精神科での治療・・・・・・・・・・第6章 1) 精神科における治療 2) 薬物療法・電気けいれん療法 3) 精神療法 4) 環境療法・社会療法 4. 社会のなかの精神障害・・・・・・・・・・第7章 1) 精神障害と治療の歴史 2) 日本における精神医学・精神医療の流れ 3) 精神障害と文化 4) 精神障害と社会学 5) 精神障害と法制度				
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 （医学書院）				
参考図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔2〕精神看護の展開 （医学書院）				

授業科目	精神看護学援助論	単位数	1 単位	講師名	看護師・看護教員
		時間数	30 時間		
学年	2 学年		履修期	後期	
授業の目標	1. 心の健康問題のある人に対して必要な看護を実践するための基礎的な知識、技術を習得する。 2. 精神疾患のある患者の看護を展開する。				
授業内容 (授業計画)	(12 時間)		(13 時間)		
	1. ケアの人間関係・・・・・・教科書 第8章 1) ケアの前提 2) ケアの原則 3) ケアの方法 4) 関係をアセスメントする 5) 患者―看護師関係における感情体験 (1) 転移・逆転移 (2) 感情の容器になる (3) 「肯定的感情」と「否定的感情」にまつわる誤解 6) 対処のむずかしい場面 (1) 患者から攻撃される (2) 患者から拒否される (3) 何度も同じことを繰り返される (4) ふりまわされる 7) 医療の場のダイナミクス (1) 病棟のダイナミクス (2) チームのスプリッティング (分裂) (3) カンファレンスでおこること ★テキスト2 使用		1. 回復を助ける・・・・・・教科書 第9章 1) 回復の意味 2) 入院治療の目的と意味 3) 治療的環境をつくる 2. 安全をまもる・・・・・・第10章 1) リスクマネジメントの考え方と方法 2) 緊急事態に対処する 3) 院内を中心とした災害時のケア 3. 身体をケアする・・・・・・第11章 1) 精神科における身体のケア 2) 身体にあらわれる心の痛み 3) 精神科の治療と身体のケア 4) 日常から気をつけておきたい身体合併症 5) 精神科における身体のケアの実際 6) 睡眠の援助 7) 身体の問題へのグループアプローチ 4. サバイバーとしての患者とそのケア ：第12章 1) 受け入れがたい行動を示す患者たち 2) 心的外傷への着目 3) 回復への道程 ★テキスト2 使用		
	(5 時間)				
	1. 事例による看護過程の展開 1) 看護過程の考え方 2) 事例展開の実際 ―統合失調症のある患者の看護過程の展開―				
評価方法	1. 筆記試験 2. レポート評価				
注意事項	特記なし				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 (医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学〔2〕精神看護の展開 (医学書院)				
参考図書					